



▲ちよだ地域子育て支援センター

圓城寺正道 議員

子育ての支援対策は

A 地域福祉センターの中に子育て支援センターを設置

Q 従来の施策は働く女性向けの子育てが中心だったが、全ての家庭の子育て支援策について伺う。

A 保健福祉部長 平成19年度に建築いたしました地域福祉センターの中に子育て支援センターを設置する予定です。現在、子育て支援センターは2箇所ありますが地域福祉センターの中には、大きな規模での対応ができるよう

う考えております。

Q 選挙公報の発送漏れについて伺う。

A 総務部長 選挙公報につきましましては、候補者の氏名や経歴、政見等を有権者に広く知らせることを目的として条例に基づいて発行をします。経費や告示期間の関係から、当市でも7社の新聞社に折込を依頼し実施しております。配布漏れは、一部の

販売店で発生した折込不足で清水地区と飯岡地区の2箇所でありました。清水地区につきましましては、市民からの連絡により期間内に配布することができましたが、飯岡地区は、期間を過ぎたために影響を与えることになりました。今後は、このようなことがないように、十分注意をしてまいります。

質問事項

1. 一般行政について
 - (1) 職員の定数削減について
 - (2) 職員のモラルについて
 - (3) 公費による研修について
 - (4) 公文書破棄について
2. 児童福祉関係について
 - (1) 子育て支援について
3. 財政関係について
 - (1) ペイオフ対策について
4. 選挙関係について
 - (1) 選挙公報の発送漏れについて

産業建設委員会

【付託案件】

- ・平成18年度かすみがうら市一般会計補正予算
- ・平成18年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算
- ・平成18年度かすみがうら市水道事業会計補正予算
- ・かすみがうら市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について
- ・平成19年度かすみがうら市一般会計予算中、産業建設委員会の所管に関する歳入歳出全般
- ・平成19年度かすみがうら市下水道特別会計予算
- ・平成19年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算
- ・平成19年度かすみがうら市水道事業会計予算
- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の認定について

【審議内容】

Q：農道整備の場所はどこになるのか伺う。

A：全部で4箇所あり、千代田地区3箇所、霞ヶ浦地区1箇所となっています。

Q：向原の保留地の販売についての見込みと、対応はどうなっているのか伺う。

A：宅地55区画のうち、11区画売れ、残りは44区画となっています。坪単価を15万5千円から12万5千円と3万円下げて販売し、常陽リビング、毎日新聞に広告を掲載して販売促進を行っております。販売は難しい状況ではありますが、ひきあいも何件か来ているので、今後も完売に向け進めて行きたいと思います。

Q：基盤整備事業の内容を伺う。

A：菱木上流土地改良区内農道900mの整備です。3箇年の事業であり、19年度が最終で仕上げ工事になります。



▲土地改良区内農道整備事業



▲大塚児童館

桂木庸雄議員

Q 危険箇所の改良工事の進捗と新年度の見通しは

A 霞ヶ浦庁舎下の交差点改良工事を行う

Q 国道354号線バイパス工事の進捗状況と新年度整備計画について伺う。

A 市長 用地取得については全体面積対比率で95%の地権者の協力により取得しています。工事の進捗状況は、全体計画延長2,890mの内、約1,033mを5工区に分割し、工事に着手しています。新年度整備計画につきまして

Q 霞ヶ浦庁舎坂下の県道改良工事と市立北中学校入口交差点の歩道整備事業について伺う。

A 土木部長 県土木事務所によると、霞ヶ浦庁舎下の県道交差点改良については、今月に工事契約を

行い信号機の設置を含めた工事を平成20年3月までに竣工予定です。市立北中学校入口交差点の歩道整備事業については、平成19年度に用地測量と一部用地買収を予定しておりますが、その後の用地買収や工事着手時期等が未定の状況にありますが、早期着手を引き続き要望してまいります。



▲国道354号線バイパス整備事業

佐藤文雄議員

Q 前市長汚職事件裁判の確定結果を受けての市政改革は

A 新しいまちづくりに向け、進んで参りたい

Q 1月29日、水戸地裁で前市長の汚職事件の判決があり刑が確定したが、この結果を受けて行政内部の改革をどう進めるのか。

A 市長 これにより、すべてが終局したものと捉えております。今回の事件を通して、市民が失ったもの、職員が傷ついた代償は計り知れないと思っております。原因となった入札制度改革に着

手したところであり、今後は、行政組織や人事などの見直しに努めつつ、新しいまちづくりに向け、市民の皆様とともに一丸となつて進んで参りたいと考えております。

Q 「大塚児童館の児童クラブの学年範囲が1、2年生と狭いのは不公平。3年生の児童募集も追加して」との苦情が寄せられているが。

A 保健福祉部長 千代田地区の稲吉及び大塚児童館は、数年前から定員数を上回る応募が続いている状況です。大塚児童館については小学3年生まで受け入れると定数50名に対して100名近くになると予想されますので、募集の拡大は考えておりません。当面は、新築した新治児童館との相互連携により対応をしたいと考えております。

質問事項

- 入札制度の改善について
 - 一般競争入札と指名競争入札について
 - 随意契約のあり方について
 - 予定価格の事前公表について
 - 市道⑥6号線迂回道路工事について
 - 入札談合について
- 市政改革について
 - 汚職事件裁判確定の結果について
- 向原土地画整理事業について
 - 保留地販売について
 - 仮換地の販売について
 - 債務負担行為の執行について
- 水道事業について
 - 県との契約水量について
 - 水道事業における人口計画について
 - 水道料金・基本水量の見直しについて
- 教育行政について
 - 学校施設の耐震調査と老朽校舎の全面改築について
 - 学校給食に地元農産物活用について
- 福祉行政について
 - 子育て支援について
 - 国民健康保険制度について
- 住み良いまちづくりについて
 - つくばファームの悪臭対策について
 - ゴミ収集カレンダーの作成について

質問事項

- 行政改革について
 - 将来目指すべき合併パターンについて
- 環境行政について
 - 悪臭対策について
 - 残土埋立について
- 福祉行政について
 - 少子化対策について
- 道路行政について
 - 国道354号、大和田バイパス道について
 - 県道の改良工事について

中根 光男 議員

Q 児童生徒の安全対策について自動体外式除細動器（AED）の設置と講習会の実施状況について伺う。

A 教育部長 平成19年度において市内すべての小中学校に配置予定です。これまでの講習会の実施状況は、養護教諭はすでに受講済みです。また、小学校6校、中学校2校が校内講習会を実施しております。AED導入時において講習会を計画すると

Q 子どもを守る自動体外式除細動器（AED）の認識と設置

A 市内、全小中学校に設置する

ともに、夏期休暇期間中に教職員を対象とした、普通救命講習の中でも計画を考えております。

Q 危険度の高い通学路の状況確認、対策について伺う。

A 教育部長 市内各小中学校においては、それぞれの学区に、児童生徒・PTA・職員で学区内の調査を基に危険箇所や、不審者情報、水の事故情報、その他の情報を書き込んだ安全マップを作成しております。この中で、



▲自動体外式除細動器（AED）

Q 歳出削減の基準として行政評価の定着は

A 事業の成果指標を重んじ、行政評価システムを早期導入して削減する

Q 税源移譲により財源不足との厳しい試算がある中、住民税比率が増し、市の自主財源をどのよう維持するかにについて考える。

A 市長 市民税としての実質収入に不透明な部分が多々あるため注意します。収納課（納税推進課）については、税の取り扱いを主に設置します。自主財

源の確保は、平成19年度自主財源予算の35%を占める当市税が標準税率のため、歳出削減を主に分担金、負担金、手数料、諸収入の見直しにより維持を図ります。長期的には地域の活性化が重要であると考えます。

Q 三位一体改革に応じた歳出削減の基準として、行政評価を市内に定着させる考えを伺う。

A 市長 市政運用も経営路線として民間手法の導入と時代に応じた施策の研究等により変革の時代に対応します。事業の成果指標を重んじ、行政評価システムを早期に導入して歳出削減を図り、限られた財源においても市民に納得を得られるように行政評価を研究する考えです。

質問事項

- 行政全般について
 - (1) 税源移譲と歳入の安定について
 - (2) 三位一体改革と行政評価について
 - (3) 道州制に対応する新たな市町村合併の動きについて
 - (4) 合併特例債による事業の変更と国・県政策の招致について
- 産業振興について
 - (1) 産業種別に応じた予算の配分について
 - (2) 市内の第一次産業ブランド化施策について
 - (3) 交通基盤整備と産業基盤整備との連携について
 - (4) 入札制度について
- 教育行政について
 - (1) 学校統廃合による教育の充実について
- 環境行政について
 - (1) 悪臭への対策について
- 福祉行政について
 - (1) 高齢者や障害者に応じた雇用や請負の機会について

質問事項

- 教育行政について
 - (1) 学校内におけるいじめについて
- 児童、生徒の安全対策について
 - (1) 子どもを守る自動体外式除細動器（AED）の認識と設置について
 - (2) 危険度の高い通学路に対するガードレールの設置について
- 福祉行政について
 - (1) 効果的な介護予防について
- 農業行政について
 - (1) 減反対策への対応と今後の取り組みについて
- 保健行政について
 - (1) ノロウイルス感染対策について
- 土木行政について
 - (1) 新市計画における幹線道路について
- 観光行政について
 - (1) 観光振興の取り組みについて

栗山千勝議員

Q 業者から出された鶏糞の乾燥処理装置の内容を理解しているのか伺う。

A 市長 地域の農業、産業の振興とそれから環

脱臭装置、鶏糞の炭化、乾燥装置を設置すると回答をいただいておりますが、職員がさらにその装置の内容、効果を点検し業者側の一方的な説明のみを受けるだけでなく、具体的に効果の点検をさせ、数字的な目標を検討し対応するような指導していきたいと考えております。

Q 財源の確保とその方策について伺う。

Q 財源の確保との方策について伺う。

A 市長公室長 財政の健全化を図るためには、適正な受益者負担は必要ですが、過大な住民負担は回避すべきです。具体的な財源確保は、市税をはじめとする自己財源の確保、さらに歳出面での経費削減といった両面から、捉えることが、財政運営の基本であると考えております。

と考えております。

Q 行財政の抜本見直しについては

A 歳入歳出のバランスの取れた行政運営をはかる

Q これからの行政運営の一例
踏襲、慣例施策からの脱却
について伺う。

A 市長 予算執行にあたり、これまでの消費主体の考え

から効率と成果を重視した生産主体の意識へ転換し、歳入歳出のバランスのとれた行政運営への展開を図り、行政改革の推進のもと、市民サービスのなお一層の向上に努めてまいります。そのためには、充実した市民サービスを効率的か

Q 児童館のない地区の放課後の安全対策について伺う。

つ安定的に提供していくため、受益者負担の原則に基づく負担の公平性確保についても関係各位と十分協議・検討を行い、皆様の理解を得て、収入と支出のバランスや効率、事業の効果を検証する企業的经营感覚を積極的に取り入れ、新しい行政運営の確立が必要と考えています。

A 保健福祉部長 7月の夏休み期間中に、志筑小、七会小、上佐谷小も含めて余裕教室を利用した放課後児童クラブの開設を予定しており、市内全小学校区で放課後児童クラブを実施します。また、県の新規事業等で、放課後児童プラン等の取り組みについては、これまで福祉部門で児童館等の事業を進めておりますが、今後教育委員会と連携を図り、事業を進めたいと考えております。

▲ 十和養鶏場

質問事項

1. 行財政の抜本見直しについて
 - (1) 前例踏襲形施策からの脱却について
 - (2) 不要不急事業の見直しについて
 - (3) 官と民の役割分担について
2. 教育施設整備について
 - (1) 志筑小学校改築移転計画について
3. 児童生徒の安心安全な育成について
 - (1) 児童館の無い地区の児童生徒の安全対策
4. 高齢者世帯の実態把握について
 - (1) 少子高齢化時代といわれているが本市の高齢者家族の実態はどうか

質問事項

1. 行政全般について
 - (1) 大型養鶏場からの悪臭対策について
 - (2) 旧千代田町で大型養鶏場建設許可の有効期限はいつ
 - (3) 市民サービスは、合併前と合併後でどう変わったか
 - (4) まちづくり建設計画（合併特例債）事業の進捗状況は
 - (5) 財源の確保はいかに、その方策